

と言うのは、26歳男性隊員。『DateLine』を利用する人には、真面目に結婚相手を探している人もいればアバンチュールを求めている人もいます。良縁を招くか危険を招くかは、あなたが限られたスペースでどんな言葉を使うかにかかっているようだ。

### 日本人を助ける恋愛の達人

「私たちはデートを斡旋するエージェントではなく、結婚情報サービスです」と言うのは、アーバインに事務所を構えるフレンズネットワーク(714-733-1061)の青井ゆかり社長。アメリカと日本に200人以上の会員を持つ。年齢層は、30代と40代を中心に下は18歳、上は70歳と幅広い。

システムはいたって簡単。会員になったら、会報とメンバーリストが送られる。会員はメンバーリストに目を通し、気になる人がいたらフレンズネットワークにリクエ

ストを出す。相手がリクエストに応じたら、フレンズネットワークが二人の出会いをセットアップ。また、2カ月に1度の割合で開かれるパーティーは、会員同士が気軽に交流できる場となっている。

年会費は女性が350ドル、男性が550ドル。「高い入会費を取ってコンピューターで処理しているようなエージェントも多いんですが、うちは人が中に入って紹介とカウンセリングをします。ちなみに、日本の結婚相談所の入会金が30~100万円、アーバインにある同系エージェントの年会費が3千ドルなので、うちの会費が高いとは思いません」と青井ゆかり社長。

男性と女性の会費額が違うのは、需要にズレがあるからだ。「日本人女性は日本人男性とアメリカ人男性両方に求められるんですが、日本人男性を求めるアメリカ人女性は少ないんです」とスタッフの青山裕也さん。アメリカ人会員30名のうち、女性はたったの1名。日本人女性の人気について青山さんは、「アメリカ人男性は、マテリアリスティックなアメリカ人女性に辟易してるんです。彼等は、日本人女性に安らぎのようなものを求めているんですよね」と分析する。

ここから生まれたカ



ップルは数えきれないと言う。こういった業界の問題点とは聞くと、「長所しかありません」と青井社長は断言する。「自分で恋人を探すにしても人に紹介してもらうにしても、限りがあるでしょう。ここは出会いに限りがないんですから」。さらに、「うちがみついたら自後者が何人も出るでしょうね」と続ける。「それだけ多くの日本人が寂しい思いをしているんです。こっちの人って、何をしても家族、カップル単位でしょう。シングルが寂しい思いをする社会なんですよ、アメリカって。それから、結婚相手とまでいかなくても茶飲み友達が欲しいお年寄りがたくさんいるんですが、彼等は特に人と出会うのが難しいんです。日本ほどコミュニティーが発達していないでしょう。ここは、そういう人たちにとっ



青井ゆかり社長と、スタッフの青山裕也さん、安部美和子さん

## ピアノをお探しですか。 私どもにおまかせ下さい!!

- ◆帰国の際に処分しやすいピアノをご存じですか?
- ◆日本に持って帰られますか?
- ◆保証、調律及びメンテナンスは万全ですか?

**KAMATA U.S.A., INC.**  
12890 Western Avenue, Garden Grove, California 92641  
日本語で石坂まで(714)952-2136(要アポイント)

**信用と技術のピアノコンサルタント**

- ピアノ講師紹介
- PTNA(全日本ピアノ指導者協会)L.A.連絡所